

令和4年度 地元産業界等と連携した実践的PBLを含む 授業科目等の開講の実施

1. 連携している地元産業界等の組織名称

函館市

2. 当該授業等を実施する学部・学科

コミュニティ総合学科

3. 当該授業等を開講する目的

地域の課題認識および街の魅力認識

4. 当該授業等の具体的な内容

函館市や企業が抱えている課題に対し、学生がチーム別に取り組み、調査・分析及び企画を行い、課題に対するソリューションを提案していく問題解決型の授業（集中型）である。

6月に函館市経済部雇用労政課の担当者から課題および背景の説明を聞いた上で、函館市内の求職情報について調べた。企業説明会への参加、就職情報掲載に関する企業へのヒアリングなど学生として知りたい情報について話し合った。

9月の中間報告では上記、調査経緯を報告し、学生への関心を呼び起こすために、HP内にショートムービー（動画）を用意すること、ホテル等での就活イベントの提示をおこなった。市役所からは動画のアイデアの評価があり、具体的に「どのような動画がよいのか見せてほしい」とのコメントをもらった。

10月以降、実際に動画作成を試行することになり7社を選定した。協力を得た5社（きくち電工舎、MYG株式会社、株式会社大竹商店、有限会社ウィズ、株式会社ハコレコドットコム）に対して、学生より取材にあたっての事前説明、外観およびオフィス風景の撮影、若手社員および代表者インタビューをおこない、1社あたり3-5分の動画を完成させた。

1月の最終報告では5社の完成動画を市役所担当者に見せ、会社の雰囲気わかる動画であるとの評価を得た。また、協力企業へも完成動画を持参し、担当者に説明をおこなった。実際に企業HPで紹介（リンクを作成）してくれたり、「社内で上映会をおこなう」、「企業説明会で使用する」、「今後も是非やってほしい」との好意的なコメントをもらったりした。

市役所担当者からは学生ならではの視点と企業への働きかけの積極性を評価してもらった。履修者は地域の課題認識を実践から学び、具体的な活動を通じて、街の魅力を再確認することができた。